

教育課程（５歳児）

福山市立緑丘幼稚園

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
期のくくり	9期		10期			11期			12期			13期
	新しいクラスに慣れるとともに、年長児としての喜びをもって生活する時期		いろいろな遊びを十分楽しみながら、友達とのつながりを広げていく時期			自分の力で試したりしながら、遊びに取り組み、友達と考えや思いを出し合って遊ぶ時期			信頼し合う仲間と話し合いながら、意欲的に遊びを創り出していく時期			1年生になるという自覚と喜びをもちながら、残り少ない園生活を楽しむ時期
子どもの姿	- 年長になった喜びや期待が見られる一方で、生活や環境が変化したことへの不安や緊張した姿も見られる。 - 保育者の声かけにより、年少児や年中児に関心を示し、挨拶やお世話をしようとする。 - 様々な遊びに興味を広げ、気の合う友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。 - 春の気候の心地よさを感じたり、身近な自然物に興味・関心をもって関わったりする。		- 生活の仕方が分かり、進んでしようとするようになる。 - いろいろな友達とかかわりを広げて遊ぶとすることが思いがぶつかったり、伝わらなかったりする。 - ダイナミックな遊びを喜び、自分達で考えたり工夫したりすることを楽しむ。			- お互いの頑張りを認め合い、協力して取り組むようになる。 - 自分なりの目標をもって挑戦し、友達から刺激や良さを受けてやってみようとする。 - 友達と共通の目的をもち、力を合わせていろいろな活動に取り組むようになる。			- 生活や遊びのなかで役割を分担しようとするようになる。 - 友達とのつながりが深まり、自分達で問題解決をしようしたり、話し合おうとしたりするようになる。			- 生活や活動に見通しがもてるようになり、自信をもって行動するようになる。 - 主体的に遊びに向かう中で友達と相談したり、工夫したりしながら遊びを発展させて楽しもうとする。
ねらい	- 生活や1日の流れに見通しをもち、身の回りのことを自分からする。 - 新しい生活や環境に慣れ、保育者や友達と一緒に好きな遊びや生活を楽しむ。 - 春の自然や身近な動植物に親しみ、世話をしたり関わったりする。		- 生活の仕方が分かり、進んでしようとするようになる。 - いろいろな友達とかかわりを広げて遊ぶとすることが思いがぶつかったり、伝わらなかったりする。 - ダイナミックな遊びを喜び、自分達で考えたり工夫したりすることを楽しむ。			- 生活に見通しをもち、積極的に身のまわりのことをする。 - 体を十分に動かして遊び、共通の目的に向かって取り組む楽しさ、友達と力を合わせたり競ったりする楽しさを味わう。 - 身近な自然に興味関心をもって遊びを取り入れ、美しさや不思議さに気づく。			- 友達と共通の目的に向かって取り組む中で、協力したり工夫したりして、一緒に最後までやり遂げる達成感を味わう。 - 身近な素材や自然を生かして必要な物を工夫して作って遊ぶことを楽しむ。			- 一人一人が見通しをもって意欲的に生活を進めていこうとする。 - 目的に向かってクラスの友達と協力し一つのものを作り上げていく楽しさを味わう。 - 友達と相談や協力をしながら自分達で活動を進める楽しさや充実感を味わう。 - 友達と互いの成長を認め合い、就学への期待をもつ。
内容	- 新しい生活のリズムに慣れ、身の回りのことを自分でする。 - 年中児や年少児の様子に気づき、親しみをもってかかわろうとする。 - 保育者や友達と好きな遊びをじっくり楽しむ。 - 保育者や友達と安心できる関係の中で意欲的に活動する。 - 身近な動植物に興味や関心をもち、触れたり遊びに取り入れたり、世話をしたりする。		- 生活に見通しをもち、自分達で生活を進めようとする。 - 友達といろいろな遊びをする中で、相手の気持ちや考えに気づき、分かろうとする。 - 自分の思いや考えを言葉で友達に伝えようとする。 - ルールのある遊びや共通のめあてをもった遊びを繰り返し楽しむ。 - 自分なりの目当てをもって試したり工夫したりすることを楽しむ。 - 栽培物の生長に関心をもち、収穫する喜びを味わうとともに食への関心を深める。			- 週の予定や一日の生活の流れが分かり、見通しをもって行動する。 - 様々な運動遊びに進んで取り組み、十分に体を動かして遊ぶ。 - 得意なことや頑張っていることなどを友達同士で見せ合ったり認め合ったりする。 - 身近な花や種などを集めたり、いろいろな物を工夫して遊びに取り入れたりする。			- 友達と考えを出し合ったり、役割を分担したりしながら遊びを進める。 - 友達とイメージを伝えあい、様々な表現方法を工夫し、みんなで一つのものを作っていく。 - 友達と共通のイメージをもって作ったり描いたりしたものを遊びに取り入れて楽しむ。 - 生活や遊びのなかで文字・数・量などに興味関心をもつ。			- 役割や遊びの進め方について相談したり、協力したりしながら共通の目的に向かって、自分達で遊びを進めていく。 - 年中児に係や当番の仕事を引き継ぐ。 - 文字・ことば・数量・時計などに関心をもち、生活や遊びに取り入れる。 - 小学生との交流などを通して入学への期待をもつ。
保育者のかわり(□)・環境構成(*)	□年長になった喜びを受けとめ、年下の子に親しみをもって関わる機会をつくっていく。 □一人ひとりに丁寧にに関わり、信頼関係を築いていく。 □身近な自然に関わり発見や不思議に思う気持ちなどに共感していく。 *安定した気持ちで生活ができるように、見通しがもてる環境の工夫をする。 *友達と進んで繰り返し活動できるように、これまでの経験を生かした環境を工夫する。		□友達とのつながりを深めるために、保育者も仲間に加わりながら、互いの気持ちや考えを伝え合えるようにしていく。 □次にすることなどを自分達で考えて行動できるようにしていく。 □試したり、工夫したりしている姿を認め、興味関心を周りの子どもにも広げていく。 *気の合う友達と一緒に活動を楽しめるよう時間にゆとりをもって、生活の仕方と場を構成する。 *身近な用具や遊具を使って遊ぶ楽しさを味わえるように道具や場を準備する。 *水・泥・土などを使ってダイナミックに遊ぶ機会を設け感触や不思議さを共有したり、試したり工夫したりする楽しさを味わったりできるようにする。 *身近な自然とふれあう中で、自然現象への興味や関心を広げたり、生命の大切さに気づいたりできるようにする。			□生活や遊びに必要なことを自分達で進んで行おうとする姿を認めていく。 □友達と思いが食い違ったりぶつかったりしてトラブルになる時には、互いの思いが伝わり、気持ちの立て直しができるように互いの思いを受けとめ、寄り添ったりクラスで一緒に考えたりする。 □めあてをもち繰り返し取り組んでいることや、頑張りや伝え合う機会を大切に、友達の良さを感じられるようにしていく。 *遊具や用具など、危険や怪がないような扱い方を知らせたり共に考えたりし安全に留意する。 *秋の気候の心地よさを感じ、秋の自然物を種類や大きさによって分けたり、調べたりすることを通して興味関心が持てるようにする。			□友達の良さや自分の良さに気づき互いに認め合えるように援助していく。 □友達のイメージや考えを伝え合いながら活動を進めようとする姿を見守ったり、互いの思いが分かり合えるよう援助したりしていく。 *子ども達が相談したり協力したりできるよう十分な時間を確保し、見通しをもって生活できるようにする。 *グループ活動を工夫し、継続して行えるようにする。 *様々な素材を子どもと共に用意し、遊びに必要な物を工夫しながら作っていけるようにする。 *秋の自然物で遊んだり収穫したり味わったりする機会をもつ。			□園生活を振り返り今まで楽しかったことなどを友達と一緒に楽しんだり仲間と過ごす心地よさを味わったりできるようにし、卒園までの時間を大切にする。 □小学校見学や小学生と触れ合える機会を設定し、就学への期待が膨らむようにする。 *年長児として自分達が取り組んできた役割を、年中児に伝える場を設ける。 *遊びや生活の中で文字や数などに触れ興味関心をもてるようにする。